

令和二年度第二回「芭蕉白河の関俳句賞」受賞作品

(一般の部) 鈴木太郎選

大賞	特選	秀逸	特別賞	入選
<p>旗立の奥は日照雨の草紅葉</p> <p>酒井 秀子</p> <p>福島県福島市</p>	<p>受験子の矢立の松に触れに行く</p> <p>関戸 信治</p> <p>東京都世田谷区</p> <p>下馬の碑を結界として蟬時雨</p> <p>佐藤 和子</p> <p>福島県白河市</p>	<p>今もなほ矢立の松に蟬時雨</p> <p>安田 隆宏</p> <p>岐阜県大垣市</p> <p>吹き寄せし枯葉のぬくし片葉葎</p> <p>田中 須美子</p> <p>福島県福島市</p> <p>吉次らの墓ひひらぎの花こぼれ</p> <p>秋元 美八子</p> <p>福島県天栄村</p>	<p>梨畑の傾ぎたる小屋蟻地獄</p> <p>天野 和雄</p> <p>福島県いわき市</p>	<p>下馬の碑や花の関山満願寺</p> <p>今野 金哉</p> <p>福島県福島市</p> <p>忠と義の庄司戻しの桜二分</p> <p>木戸 和男</p> <p>福島県矢吹町</p> <p>義家のうたた寝の森いま祭り</p> <p>竹井 正己</p> <p>神奈川県横浜市</p> <p>下馬の碑や往時に帰る青嵐</p> <p>千葉 信</p> <p>岩手県奥州市</p> <p>下馬の碑や黄昏さそふ夏落葉</p> <p>蒲倉 琴子</p> <p>福島県福島市</p> <p>母衣を掛け休む義家楓の芽</p> <p>佐藤 皆夫</p> <p>福島県須賀川市</p> <p>関跡の阿伝の狛や落し文</p> <p>高須賀 経匡</p> <p>愛媛県松山市</p>

入選

みちのくに白河の関濃紫陽花	酒井 芳一	福島県川俣町
白河の時雨れて判官偲ぶ道	齋 忠吾	宮城県岩沼市
筒鳥や関山の鐘鎮もりて	五ノ井 研朗	福島県会津坂下町
閑かさや吉次の墓の苔の花	鹿目 栄八郎	福島県会津若松市
旗立の結び目固し桜東風	鹿目 京子	福島県会津若松市
月明や義経祈願満願寺	吉田 正	福島県いわき市
関跡はどこも依代青時雨	沼 康子	福島県本宮市
幌掛の楓色づく関の跡	佐藤 道博	福島県会津坂下町
白河の関へ逃げこむ稲光	平松 義之	東京都新宿区
万緑やここは関跡和算額	高橋 富子	福島県須賀川市
幌掛けの楓蛇身を隠しをり	藤田 光徳	福島県矢吹町
空蟬が吉次起きよと爪をたて	佐久間 登知雄	福島県福島市
幌掛の楓や関の杜静か	山崎 綾子	栃木県那須町
義経の矢立の松や冬の蝶	松本 八優枝	福島県白河市
かたかごやこころ矢立の松の跡	松本 勝枝	福島県浅川町

入選

もののふの庄司戻しや散る桜	吉原 一夫	福島県白河市
忘れじの権太鞍山夏しぐれ	大竹 瑞枝	福島県白河市
花散りて白河の関雲もなし	松村 すみい	福島県会津若松市
愛馬には葭も薬の岩清水	猪越 千代	福島県須賀川市
大釜に大振舞ひの山鯨	神永 秀郎	福島県塙町
関跡の苔にしたたる雪解水	田宮 秀敏	茨城県筑西市
能因の歌碑をなぞらふ杉落葉	山崎 眞澄	東京都北区
この世にて庄司桜の朝清し	八巻 栄子	福島県棚倉町
うたたねの森や源氏の鴟日和	佐藤 奈都子	香川県高松市
飛花落花義家像になびきけり	伊藤 一博	神奈川県横須賀市
青葉闇細き日の射す関所跡	中田 千鶴子	福島県西郷村
義家の幌掛楓芽吹きけり	橋本 研二	福島県田村市
ばせう道下馬の碑ありて苔の花	岩本 恵美子	福島県須賀川市
関の森寄生木芽吹く老樹かな	根本 啓	福島県白河市
風起こる入道淵の黒揚羽	岡本 堯子	福島県矢吹町

入選

幌掛の楓の花を朧とす	西牧 トキ子	福島県鏡石町
関を出て青田の色に目を休め	山崎 眞澄	東京都北区
万緑や吉次の墓に佇みし	遠藤 吉保	福島県南相馬市
補虫網かざしつ白河関の跡	池田 義弘	福島県福島市
君へ射つ石山の草矢かな	下川原 綾子	福島県郡山市
幌掛けの楓さわさわ関に秋	後藤 戴子	福島県矢吹町
旗立の桜見守る従二位杉	小滝 威	栃木県大田原市
ここが彼の白河の関汗を拭く	堀ノ内 和夫	奈良県奈良市
結界の石に白雨の気配あり	渡辺 俊子	福島県棚倉町
嬰姫よ我が袖引くな梅の花	小野 智輔	大分県大分市
行く春や関山頂の鐘の音	緑川 三亥	福島県白河市
延齡草を訪ぬ矢立の松の跡	北川 春子	福島県白河市
母衣ゆする風に勝機や花楓	若松 良一	埼玉県行田市